

哲学史を読み、現代を読む

教授 清水真木

1. 研究内容

このゼミのテーマは西洋哲学史です。哲学は、古代ギリシア以来 2600 年以上の歴史を持つ人類最古の学問であり、他のすべての学問を支配する位置を占めることから、伝統的に「万学の女王」と呼ばれてきました。

このゼミでは、身近な諸問題を正しく把握し評価することができるようになることを目標に、古代から現代までの哲学史を勉強してもらいます。

2. ゼミの進め方

〈対面で実施する場合〉

2年から4年まで、すべての学期において古典的なテキストを講読します。合宿を実施する予定はありません。

〈原則としてオンラインで実施する場合〉

2年から4年まで、すべての学期において資料や動画の提示、理解度を確認するための課題や小テストなどを組み合わせた授業を実施します。Zoom や Skype などのビデオ会議サービスは、対面での授業が不可能である場合のみ用いることがあります。(※「顔出し」必須。)

また、卒業論文またはこれに代わるものを3年次か4年次のいずれかに提出してもらう可能性があります。

3. 教材

〈対面で実施する場合〉

各学期の初回の授業までに、参加者の希望を聞いた上でテキストを決めます。過去3年間で使用したテキストは次のとおり。プラトン『メノン』、セネカ『人生の短さについて』、ベルクソン『笑い』、内村鑑三『後世への最大遺物』、ミル『自由論』、マキアヴェリ『君主論』、本居宣長『うひ山ぶみ』。

〈原則としてオンラインで実施する場合〉

古代から現代までの哲学史をカバーするような形で資料や動画を配信し、また、授業の進行に合わせて適宜文献を指示します。

4. 成績評価の方法

〈対面で実施する場合〉

授業への参加の度合い（発表、発言など）によって評価します。

授業時間中の発言の機会が非常に多くなるため、「卒業論文」に相当するものをあらかじめ執筆してもらうことは、今のところ予定していません。

〈原則としてオンラインで実施する場合〉

資料や動画へのアクセス状況、課題や小テストの成績によって総合的に評価します。課題や小テストの分量が少ない場合、卒業論文に相当するものを執筆してもらう可能性があります。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

1. 次の2点を入室の最低限の条件とします。

(ア)時事問題、特に政治に積極的な関心があること。

(イ)「哲学A」「哲学B」「論理学A」「論理学B」のすべてを来年度末までに履修すると約束できること。

2. ゼミの準備には、授業以外に平均して毎週少なくとも3時間の勉強が必要です。